

2学期が終了！目標に向けてそれぞれがんばるときです！

ただし、冬休み中に進路変更を行う場合、注意が必要です。

冬休み中の進路変更は、次の点から決して望ましいこととはいえません。

- ①この時期に、相変わらず揺れ続けているということは、学習に集中することを難しくします。学力テストA～Cの結果を元に懇談などで十分な話し合いを行い、決定したことと思います。
- ②高校に提出するのは、生徒が作成した「入学願書」だけではありません。他の提出書類を高校ごとに作成しています。事前相談なしに、受検先を変えるとその後の手続きに支障を来すことがあります。

これらのことを踏まえて、それでも進路変更を検討する場合は、必ず次の手順でおこなってください。

(1)冬休み中に担任の先生に連絡し、必ず相談を行った上で、進路変更を行うこと。

- ・冬休み中のうち、12月28日（土）～1月5日（日）までは学校が閉鎖されているため連絡はとれません。
- ・1月6日以降、できるだけ早く電話をし、もし担任の先生がいない場合は進路変更の旨を説明し担任の先生がいる日を確認してください。

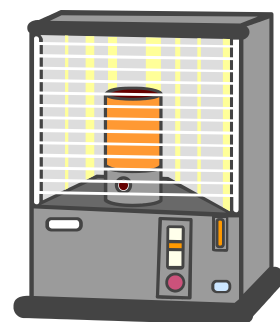
(2)担任の先生に事前相談なしに「出願依頼書」と異なる高校名の願書を提出する事は絶対に避けて下さい。

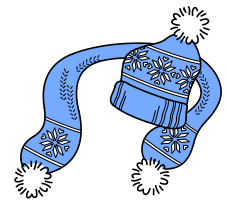
- ・1月14日からは3年生全体の進路先への発送作業が始まり、3年生の先生方は非常に忙しくなります。急な変更の場合、本人だけでなく場合によっては保護者の方にも来校していただくことがあります。その場合、多方面に迷惑がかかりますのでそのようなことはないようにしてください。
- ・今年も定期テスト以降、おおよその学年末の成績（9教科総合点のみ）を全員に伝えるようにします。そこで慌てることのないように、今できることをしっかりやっておきましょう。このことを踏まえた上で3学期からの自分の動きを考えておいてください。

※公立高校の場合は、1月28日（火）に出願状況が発表されます。この時、この時点での倍率が発表されますが、それによって「高校の再検討」を考えるのは望ましいことではありません。『自分の実力』や『その高校で、またその先でやりたいこと』『そのためにどう取り組むか』などを考えて十分な話し合いの結果、決めたものだと思います。第一希望が叶わなかったとしても、同様に頑張ることができる高校を選んで受験する人がほとんどでしょう。『〇〇高校に絶対入るぞ』と前向きに取り組む、いずれの高校に入学した場合も、それまでに培った力が発揮できるように頑張ってください。

それでもこの時点でどうしても出願変更を希望する人は、正規の手続きに基づいて出願変更することになります。変更の受け付けの期間は1月29日から2月4日までになります。

出願変更手続きについては3学期に連絡しますが、決して焦ることなく今まで取り組んできたことをよく考えて判断してください。





そして冬休み明けは…

2020年1月14日（火）はいよいよ公立高校の願書提出です。冬休み中に手応えをつかんで、自信を持って進学希望先の高校名を書いてきてください。

- ・道立高校を受検する人は(保護者をお願いして、あるいは自分で)銀行などで「北海道収入証紙」を購入
- ・市立高校を受検する人は願書と一緒に渡した振り込み用紙を銀行に持参し、振り込みを終え

それぞれ貼らずに願書と一緒に提出してください。自分のことです。くれぐれも任せきりにしないようにしましょう。14日には、公立の願書とともに収入証紙 or 領収用紙・万が一のために願書を書いたペンを忘れずにもって来るようにしましょう。

私立高校一般受験の人は始業式の日願書を配布します。1月21日までに銀行や郵便局に受験料を振り込み(払い込み)したあと、学校に提出(22日が締め切りです)することになります…などなど大事な締め切りがぞくぞくと控えています。わからないことは進路のプリントで確認して進めていきましょう。

それでは12月26日～1月14日までの20日間、充実した冬休みを過ごしてください。そして元気に1月14日に登校できるように、体に気をつけて良い年を迎えましょう。

保護者のみなさん

長い2学期が終わりました。この4ヶ月間、今までにない緊張感のある時期を、お子さんと共に過ごしたことと思います。2学期の最初、進路係として「計画を立て、その時その時の優先順位を考えて行動しよう」と話をしてスタートしました。そして中学校最後の行事が続き、ほとんどの生徒達はよく頑張ったと思います。生活も落ち着いていて、学年の取り組みとしてはとても順調でした。一方で個人では進路選択に対して悩み、葛藤し、さまざまところでストレスのたまった生徒もいると思います。中学3年生のこの時期は避けて通れないことばかりです。

保護者のみなさんも先日の三者懇談で、親子共々次のステップに向けて確認ができたと思います。今までこの仕事を続けていると、この時期に親子が真剣に向き合わない(話し合いをしていない)と、次に進んだときに悔いが残ることがある(「本当は〇〇だった。」「遠慮して□□にした。」など)ように思えます。子ども達は不安や悩みの中で生活しています。保護者のみなさんも同様です。うまくいかないことが多いかもしれません。「小さいときは手を離さず、大きくなったら目を離さず、大人になったら心を離さず」と言います。どうかこの時期お子さんと一緒に、この冬を乗り切ってください。保護者のみなさんも健康に留意し新しい年を迎えて下さい。

